

福岡&浜松発! 交流会を開催しました

※登壇者の所属・肩書は交流会開催時のもの

明日のビジネスを担う 女性たちの交流会 in 福岡

開催日 2023年9月7日(木) 開催形式 会場開催 (JR博多シティ大会議室)

福岡では6年ぶりの開催となった交流会。地元福岡で活躍中のキャリア経験豊富な女性たちによるパネルディスカッションを行いました。会場での開催も2019年以来となり、100名近い方々にご参加いただきました。

まず、福岡県男女共同参画センター「あすばる」の運営を行う公益財団法人福岡県女性財団代表理事で(株)西日本新聞社執行役員・北九州本社代表の甲木正子様にご挨拶をいただいた後、福岡で活躍中の異業種かつ多彩なキャリアを持つ3名の女性をお迎えし、パネルディスカッションを行いました。

冒頭にご挨拶いただいた甲木様にコーディネーターを務めていただき、パネリストの(株)フラウ代表取締役社長の濱砂圭子様、(株)岩田屋三越販売統括部店舗運営・運営マネージャーの大門由美子様、(株)タカギ総務人事部長・ダイバーシティ推進担当の松田理恵様から、成長を実感できた経験、仕事での悩みや困難を乗り越える方法、プライベートとの両立のコツ、管理職あるいは経営者ならではのやりがいや醍醐味などについて、ご自身のエピソードを交えながらお話いただきました。締め括りに、明日からの仕事に前向きになれる力強いメッセージをいただきました。



公益財団法人福岡県女性財団
代表理事 甲木 正子様

人生は一回しかありません。目標を明確にして今やれることを、自分を信じてやってほしいですね



株式会社フラウ 代表取締役社長
濱砂 圭子様

失敗だったり悩んだりしながら日々頑張っている姿って、きっと誰かの励みになっていると思います



株式会社岩田屋 三越販売統括部
店舗運営・運営マネージャー
大門 由美子様

悩んだ経験は今とても役に立っています。0.001ミリでもいいから、昨日よりちょっと前を向いて飛び出してみたい



株式会社タカギ 総務人事部長
・ダイバーシティ推進担当
松田 理恵様

パネルディスカッション終了後は登壇者を囲んだ交流会の時間を設けました。パネリストやコーディネーターから直接アドバイスをいただいたり、参加者同士の交流も生まれる等、有意義な時間となったようです。



参加者の声

【パネルディスカッション】

- 本音のお話をユーモアも交えて聞くことができ嬉しかったです。
- とても生き生きと仕事だけでなく子育てやご自分の人生を楽しんでいらっしゃる姿を見て、自分もその姿に近づいていきたいと思いました。
- ピンチをチャンスにという言葉はたまに聞きますが具体的な経験談を聞いて、とても心に残りました。

- パネリストの方々も同じようなことに悩みながら、困難を乗り越えられてきたことを伺い、励みになりました。

【登壇者を囲んだ交流会】

- 周りに相談できる女性管理職の方はおらず、悩みや迷いがありました。みなさんに質問させていただき、アドバイスをいただけて、これから頑張ろうと思えました。
- 明日への活力をいただきました。登壇者以外でも素敵な出会いをいただきました。

『チーム力向上×多様性』持続可能な 働く環境づくり ~ダイバーシティ交流会in浜松~

開催日 2023年12月15日(金) 開催形式 オンライン (Zoom) & ライブビューイング会場 (あいホール)

浜松では『チーム力向上×多様性』をテーマにしたダイバーシティ交流会を開催しました。オンライン配信をメインにライブビューイング会場も設け、参加者は合わせて約90名となりました。



冒頭、浜松市長の中野祐介様からは、開会のご挨拶とともに「多様な人材の活用が地域経済の維持発展において欠かせない要素となっている」と力強くお話しいただきました。

続いて当財団前会長であり特別顧問の伊岐典子による基調講演では、「多様な人材を組織の持続的な発展の原動力に」と題して、男女雇用機会均等法を始めとする法的整備の経緯について社会的背景を辿りながら説明した上で、なぜ多様性が注目されるのか、組織としての課題や対応、「ダイバーシティ&インクルージョン」さらには「ダイバーシティ&エクイティ(公正性)&インクルージョン」を推進していくために意識しておきたいポイント等について解説しました。

多様な人材を組織の持続的な発展の原動力にするための第一歩として、個々の人材の事情や意欲をきめ細かく“聴き取る”ことがとても重要。決めつけを避け、丁寧な傾聴をすることが、それぞれの活躍への道を開くと思います

当財団前会長/特別顧問 伊岐 典子



最後に、多様性のあるチーム作りに積極的に取り組む浜松市の企業3社によるパネルディスカッションを行いました。パネリストには(株)ソミックマネジメントホールディングス代表取締役社長の石川雅洋様、(株)NOKIO取締役の小田木朝子様、浜松いわた信用金庫きらりタウン支店支店長の望月美穂様をお迎えし、多様性を活かした組織づくりのポイントや工夫点などについて、具体的なエピソードを交えてお話いただきました。

フルーツポンチはおいしいですが、ミックスジュースもおいしい。会社の中でもフルーツポンチ(多様性)とミックスジュース(同一性)の良さもうまく活かせるといいなと思っています



株式会社ソミックマネジメントホールディングス
代表取締役社長 石川 雅洋様

様々な価値観を取り入れることに難しさを感じて悩みの連続でしたが、声の大きさに左右されるのではなくマイノリティの意見もしっかり聴くことを大切にしました



浜松いわた信用金庫きらりタウン支店
支店長 望月 美穂様

忘れがちなのは“違い”を前提にすること。違いをストレスに感じない、違いが当たり前の組織を作っていくためには方針やビジョンがとても重要です



株式会社NOKIO取締役
小田木 朝子様

自分の内面にある多様性も広げていこうという意識を持つことが大切ですね



〈コーディネーター〉当財団DEI推進事業部長
座間 美都子

参加者の声

【基調講演】

- これまでの経緯を振り返ることで、多様性が叫ばれるようになった背景について、より理解ができました。
- 今まで知らなかった内容が聞いて良かったです。多様性についてより興味を持つことができました。
- 決めつけを排除して「聴き取る」こと、というポイントが心に残りました。キャリアがある人ほど決めつけているような気がします。自分自身も気をつけたいと思いました。

【パネルディスカッション】

- 浜松にもいろいろな取り組みをしている企業があることを知りました。
- パネラーが気取らず楽しそうにお話されていたことがとても良かったです。ダイバーシティに取り組むと良いことがあるよというメッセージが伝わる雰囲気でした。
- 短い時間中でありながら、それぞれ登壇された方が丁寧に、かつ、核心をついたお話をされていたので、とても勉強になりました。